

実務経験のある教員等による授業科目一覧表（通信教育部 文学部 文化財歴史学科）

	科目名	単位数	授業方法	2023年度担当教員	概要	特記事項
1	人間論Ⅱ	2	テキスト	磯部 美也子 林 郷子 今井 由樹子	人間は一人では生きていけません。お互いが傷つけ合うことなく、それぞれの個性を發揮していけること、それが人間らしく生きる上で大切なことだといえます。それを實現するために提案された概念が『アサーション』とよばれるものです。相手を傷つけることなく、自己を正当に主張できること、それが『アサーション』の基本的な考え方です。そのためには、一人一人が自分自身をよくみつめることが重要だと説きます。本講義では、『アサーション』についてわかりやすく解説したテキストを用いて、担当者がカウンセラー等として心理支援に携わってきた経験を踏まえつつ、この概念の基本的な考え方について学習指導します。	
2	健康論	2	テキスト	島本 太香子	近年、我々を取り巻く環境は著しく変化している。また、高齢化社会となった現代では、主要な健康課題は、がん・高血圧・糖尿病といった、いわゆる生活習慣病である。我々の生活の中に健康を損なっていく要因があれば生活習慣を見直し、各人が健康に関する知識を習得して、健康の保持と増進のために適切に生かしていかなければならない。そのためには、健康を科学的に理解し、考察することは不可欠である。本科目は、担当者が、医師として臨床現場に携った経験を踏まえつつ、科学的根拠に基づいた情報から健康を多角的にとらえることを目標に学習指導する。	
3	史学講読Ⅱ	2	スクーリング	村上 紀夫	多くの寺社や文化財が伝わる奈良。私たちが見る現在の景観は長い歴史のなかで様々な変化の波をうけてきました。明治維新もそのひとつです。寺社は廃仏毀釈・神仏分離などで大きな影響をうけ、景観の変容や文化財の流出、儀礼の改変を余儀なくされたところも少なくありません。こうした変化は、社会や地域の人びとの意識にも大きな影響を与えています。それらをふまえ、維新期の宗教政策や宗教界の動向を示す史料を読み解きながら、「近代」と地域・民衆について考えてみたいと思います。本科目では、担当者が15年にわたる学芸員としての勤務経験に基づき、博物館などの史料を扱う現場で培った経験を活かして講義を行います。	
4	考古学概論	4	テキスト	山下 隆次	本来、「考古学概論」というのは、「考古学」それ自体の成り立ち、その目的、方法などを学ぶものです。ただこの授業では、少しでもこの「考古学概論」を興味深く学んでいけるように、考古学の目的や方法だけではなく、あわせて考古学の研究が日本の歴史をどのように明らかにしているのかを学ぶことによって、考古学の目的や方法を具体的に理解してもらうことにしています。したがって、この講義は「考古学概論」と「日本考古学概説」を合わせたものと考えていただいでよいでしょう。本科目は、担当者が自治体の教育委員会や博物館学芸員として、文化財に携わった経験を踏まえつつ、学習指導します。	
5	考古学特殊講義	2	スクーリング	相原 嘉之	飛鳥には宮殿・寺院・古墳など、様々な種類の遺跡がある。いずれも国家形成の過程を示す重要な遺跡群で、これらを理解することにより、「日本国」誕生の歴史が解明できる。授業では、飛鳥を題材に、国家形成過程についての講義を行う。本科目は、担当者が奈良文化財研究所、滋賀県・明日香村の調査機関・文化財保護行政に携わった経験を活かして講義を行う。	
6	仏教考古学	2	スクーリング	狭川 真一	私たちの周囲には仏教的な資料が溢れています。その中で最も身近に存在する寺院と墓を中心にテーマを設定し、授業を行います。寺院関係では寺の建物配置（伽藍配置）について解説した後、平城京内に配置された寺院について考えます。また寺院関連事項として古代における仏塔の存在意義は大きく、その種類や構造について概説します。次に葬送墓制では、古代から中世を中心に宗教的観点に立脚して概説し、仏教色の有無についても考えます。また各論として石塔（これは仏塔の延長上にあります）、経塚、仏具（梵鐘）についても言及し、仏教関連の遺構や遺物を理解するとともに歴史的な位置付けも考えていきます。本科目は、担当者が埋蔵文化財だけでなく、その他の分野（古文書・美術・民俗）との総合調査で得た経験を活かして、文化財に対する視点・視線を中心に講義します。	
7	文化財修復学	2	スクーリング	山内 章	1. 狩野山楽の板絵や、葛飾北斎著「絵本彩色通」を参考に、江戸時代初期から明治時代初期の絵具と絵具固着材の膠について学習し、基礎的な絵具の使い方を実習する。 2. 板絵や社寺建造物彩色の剥落止め処置の変遷について学習し、基礎的な修復実習を行う。 3. 社寺建造物の調査と様々な修復方法（剥落止め・補彩・復原彩色・白線描模写・剥ぎ取り）をスライドで紹介し、修復の原則・修復工程と処置材料・保存修復報告書の作成等について学習する。 本科目では、担当者が文化財保存修復の実務経験と日本唯一の薬品類不使用の膠の製造実績を活かして、講義を行う。	
8	経営学基礎	2	スクーリング	倉 光巖	担当者がものつくりの現場での永年の実務経験や企業経営に携わった知見を活かして、経営学の講義を行う。授業において、経営学の基本的な考え方が、どのように生まれ進化してきたか、そしてそれらが実際にどのように使われているかを講義する。企業を取り巻く外部環境の変化が経営戦略および組織改革などの企業行動にどのようにつながっていくかも考えていく。また、企業財務の基本を学び、財務諸表を読み解くことや財務分析を行う。	※2024年2月16日～2月18日 開講予定分
9	臨床心理学	2	スクーリング	井村修 武本一美	臨床心理学は、人間の心理的な発達、適応、自己実現などの援助に関わる心理学の一領域である。本科目では臨床心理学の全体像について概説する。まず、臨床心理学の定義、成り立ち、主要な理論とアプローチ、自己理解について学ぶ。次に主要な精神障害や不適応の診断基準、生物学的背景、臨床心理学からの理解と支援について学ぶ。最後に、臨床心理の専門職としての業務内容、特に福祉分野や教育分野などでの実践について概説する。また、公認心理師や臨床心理士の資格についても言及する。本科目では、担当者が心理専門職や精神科医として各種相談機関でアセスメントや相談面接に当たってきた知見をもとに、臨床心理学について講義を行う。	
	合計	20				